

(仮称)流山市こども計画策定に関する ニーズ調査 ～小学生用～

流山市では「(仮称)流山市こども計画」(※次ページ参照)を策定するため、市民の皆様のこども・子育て施策に関する利用状況や就労実態、ご意見などをお聞きする調査を実施いたします。

この調査は、市内の小学生のお子さんを対象に無作為抽出し、保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理し、市のこども・子育て施策の検討に使用させていただきます。

今後の流山市のこども・子育て施策、また子育てしやすい環境づくりを進める上で参考にしていく大切な調査ですので、調査票が届いた皆様におかれましては、お忙しいことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年●月

流山市子ども家庭部子ども家庭課

【調査票の回答方法】

回答方法はいずれか一方を選んでください。紙とインターネットの両方とも回答する必要はありません。

1. 郵送で回答される場合

- ①この調査票にご回答の上、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてください。
- ②お名前や住所は書かずに、**令和6年●月●日(●)までにポストに投函してください。**

2. インターネットで回答される場合

○インターネット回答期限：**令和6年●月●日(●)まで**

パソコン、タブレット、スマートフォンで本調査専用サイトへアクセスしていただき、画面の指示に従ってご回答ください。調査の最初の設問において、本調査票左上にあります調査用 ID を入力してください。

調査専用サイト URL : <https://●●●>

【回答目安時間】 約●分

【回答にあたってのお願い】

- 1 この調査票は、封筒の宛名の保護者の方がご記入ください。
- 2 調査票には、あなたのお名前を回答していただく欄はありません。率直なご意見をお聞かせください。
- 3 回答は、あてはまる番号に○をつけるものと、自由に記入するものがあります。質問によって○をつける数が違いますので、注意書きをよく読んでお答えください。
- 4 紙で回答する場合は、黒または青のボールペン、黒い鉛筆などではっきりとご記入ください。
- 5 あなたの答えた内容が、他の人に知られたり、あなたに迷惑をかけたりすることはありません。答えにくい質問があったときは、無理に答える必要はありません。答えられるところだけご記入ください。

調査についてのお問い合わせ先

流山市子ども家庭部子ども家庭課子ども政策室 電話：04-7150-6082

メール: kosodate@city.nagareyama.chiba.jp

QR

(仮称) 流山市こども計画について

(仮称) 流山市こども計画は、現行計画である「子ども・子育て支援事業計画」に、各個別法に基づく「子ども・若者計画」および「子どもの貧困対策計画」を追加し、一体的に作成する計画です。

流山市内のこども、若者、子育て世帯等に対する調査や意見聴取を行った上で、計画の策定を行います。

【現行計画】

子ども・子育て支援事業計画
(子ども・子育て支援法・
次世代育成支援対策推進法)

【新規策定】

こども・若者計画
(子ども・若者育成支援推進法)

【新規策定】

子どもの貧困対策計画
(子どもの貧困対策の推進に
関する法律)

一体的に計画を策定

(仮称)「流山市こども計画」

(令和7年度から令和11年度まで)

こども基本法 抜粋 (施行期日：令和5年4月1日)

【第10条】都道府県こども計画、市町村こども計画の策定（努力義務）

- ・都道府県は国のこども大綱を勘案し、また、市町村は国のこども大綱と都道府県こども計画を勘案し、それぞれ、こども計画を定めるよう努めるものとする（こども計画の策定・変更時は遅滞なく公表すること）
- ・各計画は、既存の各法令（※）に基づく都道府県計画・市町村計画と一体のものとして作成することが可能

※子ども・若者育成支援推進法第9条、子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条

【第11条】こども等の意見の反映

- ・地方公共団体は、こども施策の策定・実施・評価するに当たり、こどもや子育て当事者等の意見を聴取して反映させるための必要な措置を講ずるものとする
- ・具体的な措置、意見聴取の頻度等は、個々の施策の目的等に応じて様々であり、地方公共団体の長等は、当該施策の目的等を踏まえ、こどもの年齢や発達の段階、実現可能性等を考慮しつつ、こどもの最善の利益を実現する観点から、施策の反映について判断
- ・聴取した意見が施策に反映されたかどうかについて、こどもにフィードバックすることや広く社会に発信していくことが望ましい

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1 大字流山	37 南流山3丁目	73 若葉台	109 長崎1丁目
2 流山1丁目	38 南流山4丁目	74 こうのす台	110 長崎2丁目
3 流山2丁目	39 南流山5丁目	75 富士見台	111 駒木
4 流山3丁目	40 南流山6丁目	76 富士見台1丁目	112 駒木台
5 流山4丁目	41 南流山7丁目	77 富士見台2丁目	113 青田
6 流山5丁目	42 南流山8丁目	78 江戸川台東1丁目	114 美田
7 流山6丁目	43 南流山9丁目	79 江戸川台東2丁目	115 前ヶ崎
8 流山7丁目	44 南流山10丁目	80 江戸川台東3丁目	116 向小金1丁目
9 流山8丁目	45 平和台1丁目	81 江戸川台東4丁目	117 向小金2丁目
10 流山9丁目	46 平和台2丁目	82 江戸川台西1丁目	118 向小金3丁目
11 大字加	47 平和台3丁目	83 江戸川台西2丁目	119 向小金4丁目
12 加1丁目	48 平和台4丁目	84 江戸川台西3丁目	120 名都借
13 加2丁目	49 平和台5丁目	85 江戸川台西4丁目	121 松ヶ丘1丁目
14 加3丁目	50 宮園1丁目	86 東初石1丁目	122 松ヶ丘2丁目
15 加4丁目	51 宮園2丁目	87 東初石2丁目	123 松ヶ丘3丁目
16 加5丁目	52 宮園3丁目	88 東初石3丁目	124 松ヶ丘4丁目
17 加6丁目	53 大字深井新田	89 東初石4丁目	125 松ヶ丘5丁目
18 大字三輪野山	54 大字平方村新田	90 西初石1丁目	126 松ヶ丘6丁目
19 三輪野山1丁目	55 大字西深井	91 西初石2丁目	127 西松ヶ丘1丁目
20 三輪野山2丁目	56 大字東深井	92 西初石3丁目	128 おおたかの森北一丁目
21 三輪野山3丁目	57 大字平方	93 西初石4丁目	129 おおたかの森北二丁目
22 三輪野山4丁目	58 美原1丁目	94 西初石5丁目	130 おおたかの森北三丁目
23 三輪野山5丁目	59 美原2丁目	95 思井	131 おおたかの森南一丁目
24 大字西平井	60 美原3丁目	96 思井一丁目	132 おおたかの森南二丁目
25 西平井一丁目	61 美原4丁目	97 中	133 おおたかの森南三丁目
26 西平井二丁目	62 大字中野久木	98 芝崎	134 おおたかの森東一丁目
27 西平井三丁目	63 大字北	99 古間木	135 おおたかの森東二丁目
28 大字鰯ヶ崎	64 大字小屋	100 前平井	136 おおたかの森東三丁目
29 鰯ヶ崎一丁目	65 大字上新宿	101 後平井	137 おおたかの森東四丁目
30 鰯ヶ崎二丁目	66 大字上新宿新田	102 市野谷	138 おおたかの森西一丁目
31 鰯ヶ崎	67 大字南	103 野々下1丁目	139 おおたかの森西二丁目
32 木一丁目	68 大字桐ヶ谷	104 野々下2丁目	140 おおたかの森西三丁目
33 木二丁目	69 大字谷	105 野々下3丁目	141 おおたかの森西四丁目
34 木三丁目	70 大字上貝塚	106 野々下4丁目	
35 南流山1丁目	71 大字下花輪	107 野々下5丁目	
36 南流山2丁目	72 大字大畔	108 野々下6丁目	

問1-1 流山市にお住まいの期間をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

年 (満何年かでお答えください。)
(例: 0年3か月→0年、 3年8か月→3年)

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんは小学何年生ですか。当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 | 4. 4年生 |
| 5. 5年生 | 6. 6年生 | | |

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 西暦 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|------------|

宛名のお子さんの子育てをめぐり環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|------------|--------|----------|
| 1. 家庭 | 2. お住まいの地域 | 3. 小学校 | 4. 学童クラブ |
| 5. 児童館・児童センター | 6. その他 () | | |

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問9-1へ

2. いない／ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者

8. 民生委員・児童委員

2. 祖父母等の親族

9. NPO などの子育て支援団体

3. 友人や知人

10. おやこあんしん相談

4. 近所の人

11. 流山市家庭児童相談室

5. 児童館・児童センター

12. 柏児童相談所

6. 小学校

13. かかりつけの医師

7. 学童クラブ

14. その他（ ）

問10 子育て（教育を含む）をする上で、今までに困ったことはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、自由業、家族従事者等含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※「フルタイム」：週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。

※「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労を指します。

※短時間勤務制度を利用されている方はフルタイムに含まれます。

※ひとり親家庭の場合は、母親または父親のいずれかのみお答えください。

	母親	父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない	1	1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業等取得中である	2	2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない	3	3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業等取得中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

問13へ

問11-1へ

問 11-1、問 11-2 は、問 11 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は問 13 へ

問11-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業等取得中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

母親

父親

1 週当たり 日	1 日当たり 時間	1 週当たり 日	1 日当たり 時間
-------------------------------	---	-------------------------------	---

問11-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業等取得中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制でお答えください。（例：0 8時・1 8時）

※自営業や在宅勤務などで通勤を要しない方は、「家を出る時刻」を「勤務を始める時刻」、「帰宅時刻」を「勤務を終える時刻」としてお答えください。

母親

父親

家を出る時刻 時	帰宅時刻 時	家を出る時刻 時	帰宅時刻 時
--	--	--	--

問 11 で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は問 13 へ

問 12 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 11 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒ 該当しない方は問 14 へ

問 13 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。「2」、「3」を選んだ場合は、希望する希望する終了形態についてもお答えください。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年より先、一番下のこどもが 歳になった頃に就労したい	2. 1 年より先、一番下のこどもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（求職中の方も含む）	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（求職中の方も含む）

希望する就労形態 ア. フルタイム イ. パート・アルバイト等 （日数、時間をご記入ください。） 1 週当たり 日 1 日当たり 時間	希望する就労形態 ア. フルタイム イ. パート・アルバイト等 （日数、時間をご記入ください。） 1 週当たり 日 1 日当たり 時間
---	---

宛名のお子さんの放課後の過ごし方及び学童クラブの利用状況 についてうかがいます。

問 14 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所でどのくらい過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「1. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 学童クラブ	週 ☐ 日くらい → 下校時から ☐ ☐ 時まで
2. 民間学童クラブ	週 ☐ 日くらい
3. 自宅	週 ☐ 日くらい
4. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
5. 習い事 (ピアノ教室、水泳、ダンス、サッカークラブ、学習塾など)	週 ☐ 日くらい
6. 部活動	週 ☐ 日くらい
7. 児童館・児童センター	週 ☐ 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター (地域住民がお子さんの一時預かりや保育施設への送迎などを行う事業)	週 ☐ 日くらい
9. その他 ()	週 ☐ 日くらい

※「1. 学童クラブ」…放課後児童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、放課後児童支援員等を配置して、こどもの生活の場を提供するものです。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問 14-1～14-2 は、問 14 で「1. 学童クラブ」に○をつけた方（利用している方）にうかがいます。

⇒「1. 学童クラブ」を利用していない場合は問 14-3 へ

問 14-1 学童クラブをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）、小学校何年生まで利用したいかを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は24時間制でお答えください。（例：0 8時・1 8時）

(1) 現在

1 週当たり ☐ 日	1 日当たり ☐ ☐ 時間	(☐ ☐ 時～ ☐ ☐ 時)
-----------------------------------	---	---

(2) 希望

1 週当たり ☐ 日	1 日当たり ☐ ☐ 時間	(☐ ☐ 時～ ☐ ☐ 時)
小学校 ☐ 年生まで利用したい		

問 14-2 学童クラブを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
2. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
3. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
4. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
5. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
6. その他（

問 14-3～14-5 は、問 14 で「1. 学童クラブ」に○をつけていない方（利用していない方）にうかがいます。

問 14-3 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもの祖父母や親戚の人がみている
2. 近所の人や父母の友人・知人がみている
3. 他の施設に預けている
4. こどもは放課後の習い事をしている
5. 放課後の短時間ならば、こどもだけでも大丈夫だと思う
6. 学童クラブがあることを知らなかった
7. 近くに学童クラブがない
8. 学童クラブに空きがない
9. 経済的な理由で利用できない
10. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
11. (こどもの教育や発達のため、こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
12. その他 ()

問 14-4 宛名のお子さんについて、今後、何年生まで学童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。利用したい場合、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）、小学校何年生まで利用したいかを、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は 24 時間制でお答えください。（例：□0 □8 時・□1 □8 時）
また、その学年まで利用したい理由をお答えください。

1. 利用したい 1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時 ~ 時)
 小学校 年生まで利用したい

2. 今後も利用しない

その学年まで利用したい理由

[illegible]

問 14-5 学童クラブを利用したい理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
2. 子育て（教育を含む）をしている方が就労の予定がある／求職中である
3. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
4. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
5. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である／就学したい
6. 就労していないが、こどもの教育などのために預けたい
7. その他（

問 15 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「1. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は24時間制でお答えください。（例：□0□8時・□1□8時）。

1. 学童クラブ	週 ☐ 日くらい
	→ 下校時から ☐ ☐ 時まで
2. 民間学童クラブ	週 ☐ 日くらい
3. 自宅	週 ☐ 日くらい
4. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
5. 習い事 (ピアノ教室、水泳、ダンス、サッカークラブ、学習塾など)	週 ☐ 日くらい
6. 部活動	週 ☐ 日くらい
7. 児童館・児童センター	週 ☐ 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター (地域住民がお子さんの一時預かりや保育施設への送迎 などを行う事業)	週 ☐ 日くらい
9. その他 ()	週 ☐ 日くらい

問 15-1 もし、次のような「放課後のこどもの居場所」が身近にあるとした場合、どのように思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	「放課後のこどもの居場所」	参考：学童クラブ
対象者	利用を希望するすべての小学生児童	保護者の就労などの利用で放課後の保育が必要な小学生児童
場所	学校の余裕教室や校庭、公共施設など	学校敷地内や学校隣接地
内容	・ 自由な遊びや自主学習、体験・交流活動など、こどもたちが自主的に活動する居場所の提供と見守り ・ スタッフは安全管理のための見守りを行う（預かりではない）	・ 放課後児童支援員や補助員を配置して、こどもの生活の場を提供 ・ 児童福祉法に基づき配置された「放課後児童健全育成事業」

1. 利用したいと思う
2. 多少利用したいと思う
3. あまり利用したいと思わない
4. 利用したいと思わない

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な学童クラブの利用希望についてうかがいます。

問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

時から 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

時から 時まで

問 16-1 問16の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他（ ）

問17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に学童クラブの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

問17-1 問17で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他（ ）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①スクールカウンセラー	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②教育支援センター（フレンドステーション）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④家庭児童相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤青少年相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥家庭教育に関する学級・講座（公民館での家庭教育講座等）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦児童館・児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧流山市発行の子育て支援情報誌（子育てガイドブック）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨ながれやま市子育てちゃんねる（LINE）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩市のホームページ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 19 児童館・児童センターを日曜日・祝日も利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※市内の児童館・児童センターのうち、南流山児童センターは日曜日・祝日も開館しています。

1. 利用したい

2. 特に利用したいと思わない

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 20 すべての方にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった

⇒ 問 20-1 へ

2. なかった

⇒ 問 21 へ

問 20-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1年間の対応方法	日数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. （同居者を含む）親族・知人にこどもをみてもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた	日
オ. 病児・病後児保育事業を利用した （保育所で実施しているサービスを含む）	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した （※現在、病気やけがでの受け入れを行っていません。）	日
ク. 仕方なくこどもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他（ ）	日

⇒ 問 20-2 へ

⇒ 問 20-5 へ

問 20-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 20-2 その際、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい ⇒

日

⇒ 問 20-3 へ

2. 利用したいとは思わない

⇒ 問 20-4 へ

問 20-3 問 20-2 で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的でこどもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園、保育所等）に併設した施設でこどもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設でこどもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 20-4 問 20-2 で「利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 5. 利用料がわからない |
| 2. 事業の質に不安がある | 6. 利用手続きが面倒 |
| 3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | 7. 保護者が仕事を休んで対応する |
| 4. 利用料がかかる・高い | 8. その他（ ） |

問 20-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 20-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでこどもを看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、仕事を休んでこどもを看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んでこどもを看たい⇒ 日 2. 休んでこどもを看ることは非常に難しい

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、私用、リフレッシュ、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター （地域住民がお子さんの一時預かりや保育施設への送迎などを行う事業）	日
2. 短期入所生活援助事業：ショートステイ （児童養護施設等で一定期間こどもを預かる事業）	日
3. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、こどもを預かる事業）	日
4. 家事育児代行サービス （お子さんの身の回りのお世話や送迎を代行するサービス）	日
5. その他（ ）	日
6. 利用していない ⇒ 問 21-1 へ	

⇒ 問 22 へ

問 21-1 問 21 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない（ご自身の配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった等） | 5. 利用料がかかる・高い |
| 2. 利用したい事業が地域にない | 6. 利用料がわからない |
| 3. 事業の質に不安がある | 7. 利用手続きが面倒 |
| 4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | 8. 自分が事業の対象になるのかどうかわからない |
| | 9. 事業の利用方法（手続等）がわからない |
| | 10. 空きがないと言われた |
| | 11. その他（ ） |

問 22 宛名のお子さんについて、私用、リフレッシュ、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	ア. 私用（買物、こども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□ □ 日
	ウ. 不定期の就労	□ □ 日
	エ. その他（ ）	□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問23へ		

問 22-1 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ファミリー・サポート・センター（地域住民がお子さんの一時預かりや保育施設への送迎などを行う事業）
2. 短期入所生活援助事業：ショートステイ（児童養護施設等で一定期間こどもを預かる事業）
3. 夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、こどもを預かる事業）
4. 家事育児代行サービス（お子さまの身の回りのお世話や送迎を代行するサービス）
5. その他（ ）

問 23 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。ショートステイの利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（数字は一桁に一字）。
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	ア. 冠婚葬祭	□ □ 泊
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□ □ 泊
	ウ. 保護者や家族の病気	□ □ 泊
	エ. その他（ ）	□ □ 泊
2. 利用する必要はない		

理想の人数のお子さんを育てるために必要な支援についてうかがいます。

問 24 現在養育されているお子さんの他に、これからお子さんを持ちたいと思いますか（条件が合えばもちたいと思う場合も含む）。もちたいと思われる場合は、あと何人お子さんを持ちたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 今以上子どもを持ちたいと思わない

2. 1人

3. 2人

4. 3人以上

問 24-1 問 24 で「1. 今以上子どもを持ちたいと思わない」と回答した方にうかがいます。
今以上子どもを持ちたいと思わない理由は何ですか。ご自由にご記入ください。

問 24-2 問 24 で「2. ～4.」と回答した方にうかがいます。

これからお子さんをもつために必要だと思われる支援・条件をお答えください。当てはまる番号 2 つまでに○をつけてください。

1. 子育て家庭の経済的な負担への支援

2. 妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援

3. 親子で遊ぶことのできる交流の場

4. 安定的な保育環境の確保

5. 子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進

6. その他（ ）

7. 特に支援は必要ない

流山市における子育ての環境や支援についてうかがいます。

問 25 流山市における子育ての環境や支援への満足度について、それぞれの項目について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、(2)～(4)についてご意見・ご要望があればご自由にご記入ください。

(1) 流山市の子育ての環境や支援への満足度

満足していない	←	→	満足している
1	2	3	4
			5

(2) 流山市の医療機関等の設備・環境

満足していない	←	→	満足している
1	2	3	4
			5
【ご意見・ご要望】			

(3) 流山市のこどもの遊べる施設等（公園・児童館・プール等）の設備・環境

満足していない	←	→	満足している
1	2	3	4
			5
【ご意見・ご要望】			

(4) 流山市の教育・保育施設の設備・環境

満足していない	←	→	満足している
1	2	3	4
			5
【ご意見・ご要望】			

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

この調査は、流山市が実施しています。

この調査についてご質問がある場合は、流山市へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

流山市役所子ども家庭部子ども家庭課子ども政策室

電話 04-7150-6082 (月曜～金曜：9時～17時)

FAX 04-7158-6696

メール kosodate@city.nagareyama.chiba.jp

【こどもや子育てに関する相談窓口】

相談窓口	問い合わせ先	相談内容
教育相談室	電話 04-7150-8390 ※平日 9時～16時30分 第3水曜日を除く	小中学生の不登校、学校生活上の悩みに関する相談
流山市家庭児童相談室	電話 04-7158-4144 ※平日 9～17時	虐待やDVに関する相談
柏児童相談所	電話 04-7131-7175 ※平日 9～17時	虐待に関する相談
青少年相談	電話 04-7158-7830 ※平日 9時30分～16時30分	青少年に関する相談